

第6回 八代市総合計画策定審議会会議録（要旨）

開催日時	平成19年11月15日（木） 午前10時～午前11時30分
開催場所	八代市役所5階 大会議室

出席者

策定審議員

会長	宮川 英明	委員	草部 史考		
副会長	小寺ヤエ子	〃	邑田 照男		
委員	百原 敏弥	〃	田川 維善		
〃	浜田 哲治	〃	高嶋一二三		
〃	宮川 政義	〃	米田 常男		
〃	西嶋 真弓	〃			
〃	小松 八郎				(委員12名)

地域審議会代表

地域	氏名	地域	氏名	地域	氏名
八代	一川 誠一	千丁	米田 實	東陽	志水 隆
坂本	岩本 卓治	鏡	猿渡 光次	泉	谷口 清和

関係機関アドバイザー

役職	氏名
国土交通省九州地方整備局熊本港湾・空港事務所 所長	(代理)八代港事務所副所長 丸野隆夫

資料

- ・第6回八代市総合計画策定審議会 次第
- ・八代市総合計画前期基本計画（案）【答申】
- ・第5回八代市総合計画策定審議会会議録（要旨）

公開状況 公開

傍聴者数 0名

【会議内容】

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 八代市総合計画前期基本計画（案）の答申について
 - (2) その他
4. 閉会

【発言要旨】

(1) 八代市総合計画前期基本構想(案)の答申について

(会長)

それでは、お手元にあります記述の議題について進めてまいりたいと思います。事務局よりまず、ご説明をお願いします。

(事務局)

式次第と八代市総合計画前期基本計画(案)【冊子】にて、前回の審議会意見に基づき修正等を行った主要箇所について説明。

(会長)

前回の審議会で出されました委員のご意見、また、後日アドバイザーよりご指摘いただいた修正意見について修正等を行った主要箇所についてご説明いただきましたが、この修正についてご意見等はございますでしょうか。

(委員一同)

(特になし)

(会長)

では、修正については、ご承認いただいたことといたします。

前回、計画(案)についてご意見をいただき、修正等を行ったところですが、他にお気づきの点などございますでしょうか。ご意見あられる方はどうぞ。

(A委員)

P4 郷土を拓く人を育むまちのところで、「伝統の継承」とあるが、「伝統文化の継承」というように「文化」を付けてはどうか。用語の使い方は大切だと思う。「生きる力を育てる」のところでは、幼児教育と学校教育の両方が大切だと考えられることから、幼児教育も欠かすことができない。P34の上段の「務めます」は「努めます」ではないか。

(事務局)

ご指摘ありがとうございます。伝統文化の継承という提案でしたが、伝統という言葉に文化を包含しているという意味で表現しております。

(A委員)

「伝統」に「文化」を添えるかどうかについて考えたい。

(B地域審議会代表)

文化のかおるまち、という意味を込めて「伝統文化」の表現が提案されたと思われる。ただし、自分は今のままでもよいのかと思う。先達がつくったものを現在どうするのかということが大切である。一方、文化の中には、伝統だけでなく、現在の時代につくるものもあるのではないか。ここでは、伝統ではなく、文化のほうがよいのではないかと考えられる。

(A委員)

未来を創造していく流れの文化、古くから伝わり未来に伝えるものも伝統だと考えられる。伝統の中には、文化として残されたもの、長い間になくなってしまったもの、よりよい姿として変わるものなどがあると思われる。文化でないもの、時代に合わないものは廃れるのだと思われる。自分は「文化」も添えたらよいのではないと思う。

(C委員)

伝統というものは、淘汰されたものが含まれていればよいのではないか。文章表現としては、文化を追加すると、「伝統文化の継承と八代文化」と「文化」が2度出てくるため、あまり日本語表現としてふさわしくないと考えられる。

(会長)

文化とか文明などの言葉は人によってもイメージが違います。伝統に文化も含まれるという考え方があること、及び同じ文章に「文化」が2回出てくるのは表現的にふさわしくない、ということ踏まえ、原案でよいと考えます。「生きる力」の箇所についてのご意見についてはいかがでしょうか。

(事務局)

幼いころからの教育が大切という意見だと思われま。幼児教育については、基本構想の中でも「八代の未来を担う人づくり」のところで記述がありますが、基本計画は基本構想を達成するにあたっての前期5年の施策を考えていますので、前期基本計画は基本構想の全部について細かく対応するわけではないことについてはご考慮いただきたいと思。P34の上段の「務めます」については「努めます」の誤字ですので再修正いたします。

(会長)

ただいまの事務局の返答にてよろしいでしょうか。誤字については修正願。他にご意見はございますでしょうか。

(D地域審議会代表)

数値的な面で言うと、たとえば、五家荘の観光客が成果指標では右肩上がりになるよう設定をしているが、現状でいくと、近年は減少してきている。その現状で、成果指標の数値目標を上げるという想定は不可解な感じがする。農業などについても、今後、数値が上がることは難しいのではない。現状を打破するために何が必要なのかを考える必要がある。児童数が減少していくという現状のなかでは、学校の統廃合の問題もでてくる。こういう問題について、どこかに入れていくべきではないか。

(会長)

数値目標について、細かく見ますと、いろいろなところの数値目標についても裏づけが必要になってくると思われま。もちろん、事務局の方でも策定の段階から積算の根拠や、裏付けとなる事業について考慮され、この数値目標を掲げていらっしゃると思われま。裏付けとなる具体的な事業の詳細は、実施計画を策定するときにも、十分ご検討いただきたいと思。

(事務局)

観光の点で言えば、新幹線の開業など、これから変わっていくこともあります。大まかな方向性が定まれば、細かい点や事業などは今後、具体的に検討していくこととしております。

(D地域審議会代表)

観光にしても、農業にしても、衰退してきた現状と原因を十分に踏まえて検証し議論してほしい。そうでないと、言葉の上で表現しただけの印象を受けてしまう。

(E委員)

参考までに、P83の認定農業者については、八代市は県内では多い状況である。今後も認定農業者については増やしていく目標を持って良いと思。近年は確実に1戸あたりの経営面積が上がってきているので、目標としては妥当ではないか、と思。

(会長)

掲載されているこれらの取り組みが実現可能になるように、実施計画や他の計画の策定の際、十分ご検討いただきたいと思。他に意見は無いようですので、前回の審議会でもいただいた意見や本日の審議会での意見を踏まえ、答申(案)の検討に移りたいと思。

事務局より、ご説明をお願いします。

(事務局)

前回の審議会のご意見をもとに、答申(案)を事務局で作成しております。

答申(案)の読み上げ

(会長)

事務局において、前回の策定審議会を基に答申(案)を作成いただいておりますが、修正のご意見等ございましたらご発言ください。

(委員一同)

異議なし

(会長)

では、本答申(案)について、ご了承いただいたものといたします。

最後に事務局より、何か議題等ございますでしょうか。

(事務局)

今後のスケジュールについて説明

(副市長)

審議会の審議についてお礼のあいさつ

(会長)

審議会の皆さまには、お忙しいなか、ご出席いただき、貴重なご意見をいただきありがとうございます。皆さまのご協力により、20日に予定されております答申を行うことができるかと思えます。

基本構想、基本計画と長きにわたり、また議事の進行に尽きましてもご協力いただきありがとうございました。これをもちまして、第6回八代市総合計画策定審議会を閉会いたします。お疲れさまでした。

(閉会・散会)